

テーマ	2008年度の行動目標	2008年度の実績	2009年度の行動目標・計画
コーポレート・ガバナンス	金融商品取引法に基づく内部統制の整備・運用	主要部門、グループ会社の重要な業務プロセスについて、財務報告に影響を及ぼすリスクを早期に発見するためのモニタリング体制とルール構築 共通評価基準に基づく、内部統制の整備状況および運用状況の評価	金融商品取引法に基づく内部統制のさらなる改善推進
コンプライアンス&リスクマネジメント	リスク管理委員会を通じたコンプライアンスの徹底	重要な20の法令についてリスクマネジメントを推進	重要法令について、継続的な改善状況を確認するためのモニタリングとリスク発生などへの対応を確認するためのシミュレーションを実施
	コンプライアンス教育の徹底	カシオグループ倫理行動規範の改定 国内グループ会社でのカシオグループ倫理行動規範教育の実施 経営理念アンケートの実施	国内グループ会社でのカシオグループ倫理行動規範教育の実施 カシオ創造憲章 行動指針教育の実施
	情報セキュリティの強化	委託先の監督強化 グループ会社の個人情報保護活動の整備	情報システムの不正利用・改ざん防止策の推進 グループ会社の情報セキュリティ統制強化
お客様への責任	品質の向上	新製品を中心とした製品ごとに定めた品質改善にかかわる重点課題の推進	品質改善の優先課題設定と重点施策の実施 徹底した再発防止の取り組みと未然防止に向けた技術力の向上
	製品安全の徹底	強制燃焼実験などの安全性検証と設計・製造基準の改定 電気用品安全法に追加されたリチウムイオン蓄電池の安全総点検と法規制対応の実施	製品安全に関する自主行動計画の履行 自社・他社事故事例を参考とした設計・製造基準の改定 安全に関する法規制の確実な履行
	お客様満足度の向上	お客様の声の社内関係各所へのフィードバックの徹底 お客様満足度調査の定期的な実施 修理時間の短縮に向けた、部品調達・修理体制・修理技術の業務改善	修理スピード、修理品質の改善強化によるサービス品質向上の継続推進 製品サポートWEBサイト充実の継続推進 お客様の声をベースにした製品機能改善活動の推進
製品の安定供給	製品の安定供給	時計、コンシューマ部門主要品目の生産リードタイムを30%短縮 中国国内の生産拠点情報管理システムの標準化の実施 進料加工工場における複数品目生産の実行	生産拠点生産管理システムの結合 カシオグループ全体のグローバルロジスティクスをお客様視点で統合的に一元管理 カントリーリスクの軽減
	お取引先への責任	調達先のCSR推進の促進	日本国内の主要なお取引先に対して、社会的責任（CSR）遂行に関するアンケート調査を実施 CSR推進に対するカシオの考え方を含め、アンケート結果を主要なお取引先にフィードバック 中国華南地区とタイにおいて資料調達方針説明会を開催
従業員への責任	女性従業員活躍促進	「女性活躍促進ワーキンググループ」を設置 「女性活躍促進に関するe-ラーニング」、「女性活躍促進セミナー」を実施	「女性活躍促進ワーキンググループ」の継続 セミナー、教育の継続実施
	障害者雇用の推進	法定雇用率（1.8%）達成（カシオ計算機）	主要グループ会社での法定雇用率達成
	高齢者雇用の推進	定年退職者への就業機会の積極的提供	定年退職者への就業機会の提供の継続
	仕事と家庭の両立支援への取り組み	労使共同で次世代育成支援専門委員会を設置し4回の会議を実施 育児休業制度の内容拡充（最大満2歳まで） 女性従業員の育児休業取得率の向上（80%→90%）	仕事と家庭の両立支援への取り組み 介護休業制度の拡充 女性従業員の育児休業取得率の継続（90%以上）
	挑戦意欲を高め働きがいのある職場づくり	キャリアチャレンジ制度の推進 主要グループ会社での人材公募制度の実施 スキル選択型研修の推進	キャリアチャレンジ制度の推進 主要グループ会社での人材公募制度の実施 スキル選択型研修の推進
地域社会への責任	安全衛生と健康管理の推進	メンタルヘルスに関する研修体系の整備と対象別研修の実施	職場環境の向上と主要グループ会社への展開
	次世代教育支援活動の推進	合計759名の生徒さんたちに学習の機会を提供（カシオ計算機） 教職員を含めて303名の見学者を受け入れ（甲府カシオ）	受け入れ、出前授業の継続実施
	最先端科学技術研究支援	カシオ科学振興財団にて研究助成、合計43件・総額5,300万円を贈呈	カシオ科学振興財団による研究助成の継続

## カシオコーポレートレポート2009に対する第三者意見

当意見は、本報告書（ウェブ版）の記載内容、および同社の人事・調達・環境・CSRの各担当者へのヒアリングに基づいて執筆しています。

本報告書には、2008年秋以降の経済危機に対応するために、派遣・請負を含む「カシオグループで働く人々」の削減をどのように進めたかが明示されておらず、重要なステークホルダーである従業員について、適切な責任が果たされたかどうか不明です。この点を除けば、同社のCSRへの取り組みは、環境負荷削減を中心に、PDCA（マネジメント・サイクル）を進め始めているといえます。

### 高く評価すべき点

・ドイツの新オフィスビルの冷暖房に地熱を活用していること（P39）。他国でも、また、生産部門でも、同様の活用がさらに進むことを強く期待します。

### 取り組みの進捗を評価しつつ、さらなる努力を求めたい点

・本報告書の記述内容として、環境関連データについては、グループ会社を含む国内外の主要拠点の詳細を紹介していることを評価しつつ、環境関連以外の取り組みやデータについても、グループとしての報告書としての精度を高めることを期待します。  
・温室効果ガスの削減（P40）について、TFTパネル製造時のドライエッチングに、温暖化係数の高いSF<sub>6</sub>の代替として、F<sub>2</sub>を使用する工程を開発したことを評価しつつ、現在の排出分の回収・処理や量産ラインでの導入などの施策が早期に実現することを強く期待します。  
・調達・購入先のCSRへの取り組み（P25-P26）について、環境負荷の削減や働く人々の人権への配慮・対応などのCSRへの取り組みを、海外の取引先に求める機会を設けたことを評価するとともに、今後は、サプライヤーの環境や人権への取り組みや課題を可視化し、事例の共有や表彰、課題解決に向けて交流する

る体制を整えることを、引き続き期待します。  
・障害をもつ人の雇用の促進（P54）について、長年の課題であった法定雇用率の達成を評価するとともに、グループ企業を含め、働き続けやすさを向上するための工夫を、当事者の協力を得て進めること。

### 一層の努力を求めたい点

・CSRのグループ全体での取り組み（P13）について、中期経営計画の重要な構成要素と位置付けた、中期的なCSR戦略の策定と、ボトムアップを促す推進体制の確立を急ぐこと。  
・紙の使用量（P48）について、国内外での販売拠点の拡大に伴い増加していますが、紙を使用する場面を再度精査して、拠点ごとの使用枚数を削減する取り組みを加速するとともに、取扱説明書などにユニバーサル・デザイン・フォントを導入するなどの他社事例の研究を進めること。  
・デジタルカメラ、電子辞書など、高機能ながらリサイクルが確立していない製品群について、再び高騰しつつある希少金属（レアメタル）の再利用の観点から、販売促進と連動した回収や再利用製品の開発など、さらに踏み込んだ取り組みを促すこと。  
・グループ全体の人的ポートフォリオ（P53）について、長期計画を立案した上で、真にグローバルな企業として人的な多様性を積極的に活用できる採用・育成体制を整えること。

### IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所]



代表者 **川口 孝人**  
IIHOE：「地球上のすべての生命にとって、調和的で民主的な発展のために」を目的に1994年に設立されたNPO。主な活動は市民団体・社会事業家のマネジメント支援だが、大手企業のCSR支援も多く手がける。http://blog.canpan.info/iihoe/（日本語のみ）

## 2008年版レポートの第三者意見に対する取り組み

**指摘事項** 今後は、サプライヤーの環境や人権への取り組みや課題を可視化し、事例の共有や表彰、課題解決に向けて交流する体制を整えることを期待します。

**カシオの対応** 2009年度は、海外でのベンダーミーティングにおいて、カシオの考え方を伝えるだけでなく、お取引先に取り組み事例の発表を行っていただき、情報交換と共有化を進めていきます。また、アンケート調査も実施し、取り組み状況を把握します。また、課題の可視化についてはアンケート結果の分析の中で検討していきます。

**指摘事項** 本報告書の記述内容として、国内外のグループ会社のデータをより詳細に集計・紹介し、グループの報告書としての精度を高めること。

**カシオの対応** 2009年版では、グループ全体に関わるテーマや、グループ会社の取り組み・担当者の声をなるべく多く掲載するよう心がけました。今後、より関係各所と調整を重ね、さらに精度を高めるよう努めていきます。

**指摘事項** 携帯電話、デジタルカメラ、電子辞書など、高機能ながらリサイクルが確立していない製品群について、高騰しつつある希少金属（レアメタル）の再利用の観点から、回収や再利用製品の開発など、さらに踏み込んだ取り組みを促すこと。

**カシオの対応** 本質的解決を図るべく、まず、上流工程において希少金属の代替化、少使用量化に取り組んでいます。産学共同研究プロジェクトに参加し、2007年度は経済産業省、2008年度はNEDOより委託を受け、「インジウム」の代替材料開発に組み込み、酸化亜鉛によるTFT液晶の透明電極膜の製造プロセス開発に成功。また、半導体チップサイズの最小化による希少金属の使用量削減や、高密度実装「EWLP」技術による半田レス製法の開発などを行っています。携帯電話のリサイクルは、CIAJ（携帯を含む通信機器工業会）が中心になったMRN（モバイル・リサイクル・ネットワーク）を通じて、

回収・リサイクル・再資源化を実施しています。

**指摘事項** グループ全体の人的ポートフォリオも長期的な計画に基づいて立案した上で、真にグローバルな企業として人的な多様性を積極的に活用できる採用・育成体制を整えること。

**カシオの対応** カシオは、個人の多様性や人格、個性を尊重した職場づくりに努めています。グローバル化の推進のため、海外関係会社における現地化を推進し、グローバル人材の育成・管理職への登用を図っています。海外事業の拡大に伴い外国人の活躍の機会が広がっており、今後は、中長期的な視点をもって、より積極的にグローバル人材の採用・育成に取り組んでいきます。

**指摘事項** 緊急事態への対応について、災害・感染症・IT関連など原因別で主管部署を分けるのではなく、統合的な体制とすること。また事業所周辺の地域社会への支援も、重要な項目（社会的なBCP）と位置付け、準備しておくこと。

**カシオの対応** カシオでは、突発的な事件・事故・災害などについて、発生事由別に体制を構築していますが、現在、事業継続マネジメントの観点から危機管理体制の再構築を進めています。また、カシオ計算機の主要事業所においては、地域代表や行政と連携し、防災訓練活動への参画や災害備蓄など地域防災への協力体制の構築に取り組んでいます。今後は、グループ会社においても同様の活動を推進していきます。

**指摘事項** 障害をもつ人の雇用の促進について、これまで達成できなかった法定雇用率を早期に満たすために、他社の研究や職種の開発をさらに積極的に行うこと。

**カシオの対応** カシオ計算機は、法定雇用率（1.80%）を達成いたしました。（2009年4月1日時点）（P54）